

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>		担当者 木原奉文 経費区分 ー 内線 3416
全体計画			
事務事業名	4172 間伐対策事業		
所 属	150100 産業振興部・農林課		
施 策	15012200 森林の多面的機能の維持保全と共生		
予算 科目	会計	01 一般会計	
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費	
	事業	040000 間伐対策事業	
事業目的		事業概要・効果	
森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、 除間伐を適正に行い、健全な森林を育成する。		除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。森林所 有者を支援することにより、水源の涵養、山地災害の 防止が図れる。	

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
間伐対策事業補助金 52.29ha	間伐対策事業補助金 54ha
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	間伐整備の実施面積				
算式	累計実施面積				単位 ha
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	計画的に間伐を実施し、森林の持つ公益的機能を維持する。				
最終年度目標の根拠	累計1190.44ha（2020年度末）の間伐面積だが、年間平均45haとし、最終目標1400haとした。				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		2,000	2,056
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,000	2,056
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,090.4	2,090.4
	嘱託職員	314.9	314.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,405.3	2,405.3
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,405.3	4,461.3

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,000	間伐対策事業補助金2,000
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	56	消耗品56
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,000	間伐対策事業補助金2,000
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	民有林の適切な除間伐を支援し、森林が持つ公益的機能の維持を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	森林経営計画に基づき計画的に実施される除間伐を支援できている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国・県補助の標準単価の10%嵩上補助を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

52. 29haの除間伐の実施を支援することができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
防災面からも森林の維持保全は重要		災害防止や水資源涵養のため、健全な森林の育成は必要不可欠である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	